

健康づくり計画【第4次】(平成29年度)の進捗状況について

<平成29年12月末現在>

■健康づくりの推進

保健福祉部健康推進課

基本的な方向1 健康寿命の延伸(計画書 P22)

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等															
1	<p>平均寿命以前に要介護認定を受ける割合は、平成29年12月末現在では、平成25年度と比較し、男性の40～64歳以外、男女ともに減少している。今後も、下記の基本的な方向2～4の取組みにより、目標達成を目指す。</p>	<p>平均寿命(厚生労働省簡易生命表)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>80.21歳</td> <td>80.50歳</td> <td>80.79歳</td> <td>80.98歳</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>86.61歳</td> <td>86.83歳</td> <td>87.05歳</td> <td>87.14歳</td> </tr> </tbody> </table>		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	男性	80.21歳	80.50歳	80.79歳	80.98歳	女性	86.61歳	86.83歳	87.05歳	87.14歳	
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度														
男性	80.21歳	80.50歳	80.79歳	80.98歳														
女性	86.61歳	86.83歳	87.05歳	87.14歳														

基本的な方向2 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底(計画書 P23～36)

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等												
<妊産婦期、幼・少年期(15歳未満)>															
ライフステージ	1 がん	<p>●妊産婦への保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時 <table border="1"> <tr> <td>面接(29年度12月末)</td> <td>148件</td> </tr> <tr> <td>(28年度)</td> <td>189件</td> </tr> <tr> <td>電話(29年度12月末)</td> <td>72件</td> </tr> <tr> <td>(28年度)</td> <td>122件</td> </tr> </table> <p>●小中学校(学校教育課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校体育、中学校保健体育の保健分野において、がん予防などの病気の予防についての指導を実施(28～29年12月末) <p>●子宮頸がん予防接種(中学1年生)</p> <table border="1"> <tr> <td>(29年度12月末)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>(28年度)</td> <td>0人</td> </tr> </table>	面接(29年度12月末)	148件	(28年度)	189件	電話(29年度12月末)	72件	(28年度)	122件	(29年度12月末)	0人	(28年度)	0人	<p>母子健康手帳交付時において、妊娠中の喫煙などについて知識の普及を図ることができた。</p> <p>生涯を通じて健やかに生活するためにも、妊婦や家族が安心して妊娠期を過ごし、妊娠中の健康管理ができ、がんを発生させる原因が潜んでいる生活習慣病に移行しないよう今後も引き続き実施する。</p> <p>学校では、発達段階に応じ、実生活に結びつくような指導を各教科と関連づけて行うことで、児童生徒の健康への関心を高め、個人生活における健康・安全に関する理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を高めることに大きく寄与している。</p>
	面接(29年度12月末)	148件													
	(28年度)	189件													
電話(29年度12月末)	72件														
(28年度)	122件														
(29年度12月末)	0人														
(28年度)	0人														
2 循環器疾患	<p>●妊娠期の体重増加や高血圧等に対する保健指導を行う。</p>	<p>●妊婦健康診査費用の公費助成</p> <p>*妊婦一般健康診査14回、超音波検査6回、妊婦精密健康診査(必要時)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般健康診査、超音波検査数 <table border="1"> <tr> <td>(29年度12月末)</td> <td>延3,836件</td> </tr> <tr> <td>(28年度)</td> <td>延5,867件</td> </tr> </table> <p>●マタニティスクール 1コース4回/年5コース</p>	(29年度12月末)	延3,836件	(28年度)	延5,867件	<p>妊婦健康診査費用の助成を行い、妊婦が必要な健診を受診することで、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病の早期発見に役立っている。</p> <p>マタニティスクールにおいて、妊娠中の体重増加を把握し、高血圧と循環器疾患の関連など、知識の啓発を図ることができた。また、個別での栄養相談も行っている。妊娠中の体重増加は、妊娠期だけでなく、出産後も影響を及ぼ</p>								
(29年度12月末)	延3,836件														
(28年度)	延5,867件														
3 糖尿病															

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
2 循環器疾患 3 糖尿病 ライフステージ		<ul style="list-style-type: none"> 参加数：(29年度12月末) 28人(4コース分) (28年度) 37人 内容：呼吸法と妊婦体操、母乳育児、妊娠中の栄養と食事、先輩ママ・赤ちゃんとの交流会、歯の健康 等 	すことがあるため、妊娠中より健康管理ができるよう、引き続き実施する。
	●乳幼児健診や相談事業等で、栄養や食生活についての正しい知識を普及する。	<ul style="list-style-type: none"> ●乳児健診 年24回 ●受診数(29年度12月末)18回分 実432人/延732人 (受診率97.0%) 〔 3ヶ月児 実220人/延222人 6ヶ月児 実240人/延246人 10ヶ月児 実252人/延263人 (28年度) 実509人/延977人 (受診率96.6%) 〕 ●栄養相談数 (29年度12月末) 370人 (28年度) 517人 ●1歳6ヶ月児健診 年12回 ●受診数 (29年度12月末) 9回分 245人 (受診率98.8%) (28年度) 339人 (受診率97.4%) ●栄養相談数 (29年度12月末) 244人 (28年度) 340人 ●3歳児健診 年12回 ●受診数 (29年度12月末) 9回分 287人 (受診率94.0%) (28年度) 325人 (受診率91.3%) ●栄養相談数 (29年度12月末) 289人 (28年度) 321人 	乳幼児健診において、栄養相談、育児相談等を実施し、食事・栄養についての知識啓発を行った。乳幼児期の食生活は、循環器疾患と関連する将来の生活習慣病に関わるため、生活習慣病へ移行せず、健やかな成長を図るためにも、引き続き実施する。
	●保育所に通園している児の身体計測を実施し、栄養状態や健康に関する指導を行う。	●保育所(保育課)	●発育状況を把握し、児の栄養状態などの傾向をとらえていく必要があることから、引き続き実施する。
	●学校にて生活習慣病等の知識普及を図る。 ●学校健診を実施し、健康に関する指導を行う。	●小中学校(学校教育課)	学校では、発達段階に応じ、実生活に結びつくような指導を各教科と関連づけて行うことで、児童生徒の健康への関心を高め、個人生活における健康・安全に関する理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を高めることに大きく寄与している。
＜青年期、壮年期、高齢期(15歳以上)＞			
1 がん ライフステージ	●乳幼児健診時に女性のがん予防の知識の普及に努める。	●妊婦健康診査費用の公費助成 ●成人T細胞白血病抗体検査(がん予防)数 (29年度12月末) 208件 (28年度) 272件	妊婦健康診査費用の助成を行い、妊婦が必要な健診を受診することで、がんの早期発見に役立っている。

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ 1 がん		<ul style="list-style-type: none"> ・子宮がん検診数 (29年度12月末) 208件 (28年度) 272件 ●乳幼児健診 ・女性のがん検診受診勧奨パンフレットを会場にて配布 (29年度12月末) 245人 (28年度) 339人 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●健康教室等で、がんやがん発症予防のための生活習慣について市民に情報を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●出前健康講座・健康教育(がん) (29年度12月末) 2回 ・参加数：31人 ・内容：女性の健康～乳がん・子宮がん、がんについて (28年度) 0回 	各事業により、がんの知識啓発を行い、がん予防の意識づけに努めている。
	<ul style="list-style-type: none"> ●がん検診の受診率を高めるための周知を強化する。 ●検診機関や医療機関における検診が効果的に実施できるよう連携を図る。 ●最新のがん対策について情報を収集し、有効な検診の導入を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●がん等検診 ・周知方法：通年の周知方法のほかに、市広報の特集で検診の大切さを啓発 庁内回覧で検診の案内、たばこの害について周知 ・胃がん検診受診数 (29年度12月末) 1,064人(受診率5.0%) (28年度) 1,308人(受診率6.2%) ・大腸がん検診受診数 (29年度12月末) 1,460人(受診率7.0%) (28年度) 1,638人(受診率7.8%) ・肺がん検診受診数 (29年度12月末) 1,659人(受診率7.9%) (28年度) 1,772人(受診率8.5%) ・前立腺がん検診受診数 (29年度12月末) 274人(受診率7.3%) (28年度) 267人(受診率7.9%) ・子宮がん検診受診数 (29年度12月末) 855人(受診率13.0%) (28年度) 1,031人(受診率15.1%) ・乳がん検診受診数 (29年度12月末) 994人(受診率16.1%) (28年度) 1,197人(受診率18.2%) ・肝炎ウイルス検診受診数 (29年度12月末) 688人 (28年度) 775人 ・エキノコックス症検診受診数 (29年度12月末) 144人 (28年度) 123人 ・骨粗しょう症検診受診数 (29年度12月末) 102人 (28年度) 75人 *コールリコール実施 	がん検診受診率は全国、全道と比べて低い。がん予防およびがんの早期発見のためPR活動を積極的に行うと共に、がん検診実施機関と連携を取りながら受診率向上に努める。 がん検診を受診し、精密検査未受診者に対し、がんの早期発見のため、今後も受診勧奨をしていく。

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ	1 がん	ハガキ発送 (29年度12月末) 2,002人 (28年度) 555人 クーポン配布 (29年度12月末) 229人 (28年度) 72人 ●がん検診・結核検診精密検査の受診勧奨数 (29年度12月末) 108件 (28年度) 147件	
	2 循環器疾患	●特定健診受診数(目標50%) (29年度12月末) 2,916人(受診率26.9%) (28年度) 3,795人(受診率38.5%) ●眼底検査数 (29年度12月末) 1,214人 (28年度) 1,680人 ●特定健康診査二次健診数 (29年度12月末) 17人 (28年度) 97人 ●後期高齢者健診受診数(保検年金課) (29年度12月末) 712人(11月までの受診) (28年度) 921人(受診率12.2%) ●循環器健診(生活保護)受診数 (29年度12月末) 1人(受診率0.2%) (28年度) 4人(受診率0.8%) ●30歳代健診(国保以外)受診数 (29年度12月末) 18人(受診率3.4%) (28年度) 24人(受診率4.0%) ●国保30歳代健診受診数(保険年金課) (29年度12月末) 77人 (28年度) 111人	平成29年度の途中経過では特定健診受診率が減少しているものの、受診率見込みは38%を予測しているため、横ばいと捉えている。 特定健診受診率向上のため、55ドック(55歳到達者に特定健診とがん検診を無料で実施)、継続受診勧奨通知、電話勧奨を行っているが、今後も未受診対策の強化等を進めていく。 国保以外の30歳代健康診査は受診者が少ない。国保の30歳代へは受診券を送付し、積極的にPRを行った。 若年期からの健康づくりは、その後の健康状態を大きく左右することから、今後も積極的なPRに努め引き続き実施する。
	3 糖尿病	●特定健診の結果説明会の充実を図り、継続管理を行う。 ●特定保健指導の実施率の向上を図り、生活習慣改善の指導を行う。 ●特定健診で把握されたメタボリックシンドローム該当者以外の予防が必要な方に保健指導を行う。 ●高血圧対策、減塩対策を行う。 ●血糖値の高値者には早期に医療機関の受診を勧める。	●特定健診結果説明会 ・利用数(29年度12月末)156人(66回分) (28年度) 157人(53回分) ●特定保健指導実施数(目標48.0%) (29年度12月末) 119人(実施率47.6%) (28年度) 207人(実施率59.5%) ●訪問指導 ・訪問数 (29年度12月末) 実399人/延569人 (28年度) 実585人/延743人 ●成人健康相談 ・実施回数(29年度12月末) 8回 (28年度) 23回 ・相談数 (29年度12月末) 実17人/延23人 (28年度) 実31人/延41人 ●血糖値の高値者への早期受診勧奨数 (29年度12月末) 61人 (28年度) 73人

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 循環器疾患</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ライフステージ</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 糖尿病</p>	<p>●広報誌、パンフレット等で循環器疾患・糖尿病の症状や予防法に関する知識普及に努める。</p> <p>●生活習慣病等の病気や栄養・食生活についての正しい知識を普及し、健康を維持できるように支援する。</p>	<p>●健康教室（テーマ：LDLコレステロール）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加数(29年度) 生活習慣病予防教室に統合 (28年度) 3回1コース 実18人/延52人 ・内 容：健康講座、栄養講座、運動実技、個別相談 <p>●生活習慣病予防教室(テーマ：LDLコレステロール)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加数(29年度12月末)3回2コース 実22人/延59人 (28年度) 3回1コース 実18人/延50人 ・内 容：健康講座、栄養講座、運動実技、個別相談 <p>●生活習慣病予防講演会 年2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加数 (29年度) 「糖尿病網膜症について」 35人 「NO(脳)卒中予防について」 37人 (28年度) 「あなたの血糖値はどのくらいですか」 51人 「あなたの心臓が心配です ～狭心症・心筋梗塞の予防のために～」 76人 <p>●健康情報展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所数(29年度) 約1,200人 (28年度) 約 900人 ・内容：測定コーナー、体験コーナー、展示コーナー、市民ウォーキング受付、健康クイズラリー <p>●出前健康講座・健康教育(循環器疾患・糖尿病) (29年度12月末)3回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加数：68人 ・内容：メタボリックシンドロームを予防しよう～働き盛りの健康づくり～、生活習慣病の予防～脂質異常症・糖尿病編～、高脂血症について (28年度) 3回 ・参加数：50人 ・内容：気をつけよう！メタボリックシンドローム、上手に健診を受けましょう、生活習慣病予防～高血圧編 <p>●パンフレット配布、各種サービス情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康手帳配布(希望者) (29年度12月末) 5冊 (28年度) 36冊 	<p>講演会や教室を開催し、生活習慣病予防や脳卒中、心臓病、腎不全などの健康障害予防の知識啓発と意識づけや、自身の健診データから自分の体の状態を確認してもらうことができた。生活習慣病重症化予防と健康障害予防のため、実施方法を検討しながら引き続き実施する。</p> <p>健康情報展では健康づくりのための運動や食について、知識普及や体験を行った。来所者のアンケートから健康づくりの参考になったとの評価を得ており、引き続き実施する。</p>
	<p>●市民と協働で健診の受診や循環器疾患や糖尿病予防の啓発を推進する。</p>	<p>●健康づくり推進員養成・継続研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進員登録数 (29年度12月末) 56人 (28年度) 55人 ・養成講座(29年度) 5人 (28年度) 7人 ・内容：健康講話、栄養講話、運動実技、介護予防 	<p>健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている「健康づくり推進員」(市民ボランティア)の活動を通して、健康に関する情報を市民に周知することができた。</p> <p>今後も、市民が健康づくりを実践できるよう取り組んでいく。</p>

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ 2 循環器疾患 3 糖尿病		体験、市内施設見学 ・継続研修 (29年度12月末) 実40人/延106人 (28年度) 実36人/延 87人 ・内容 (29年度) 糖尿病網膜症について 養成講座の一部に参加 (28年度) 正しいラジオ体操の方法について 養成講座の一部に参加	

基本的な方向3 社会生活を営むために必要な機能の維持および向上(計画書 P37~43)

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度の取組み	評価と課題等
<妊産婦期、幼・少年期(15歳未満)>			
ライフステージ 1 次世代の健康	●妊産婦や乳幼児の発育状態に応じた栄養指導の充実を図る。 ●乳幼児健診や育児相談体制の充実を図る。	●妊産婦への保健指導(再掲につき省略) ●妊婦健康診査費用の公費助成(再掲につき省略) ●マタニティスクール(再掲につき省略) ●乳児健診、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診(再掲につき省略) ●マタニティスクール両親コース 年4回 ・参加数(29年度12月末) 55人(3回分) (28年度) 78人 ・内容: 沐浴実習、妊婦体験、子育て体験談、着替え・おむつ替え実習 ●胆道閉鎖症スクリーニング検査 *赤ちゃん訪問や乳児健診等で母子健康手帳の便色カードを活用 ・赤ちゃん訪問数(29年度12月末) 216件 (28年度) 329件 ・乳児健診(3ヶ月児)受診数 (29年度12月末) 222件 (28年度) 382件 ●母子保健推進員活動 ・家庭訪問数 (妊婦) (29年度12月末) 実 84件/延 84件 (28年度) 実121件/延121件 (乳児) (29年度12月末) 実 98件/延102件 (28年度) 実189件/延191件 ・育児交流会(市と協働) 1コース2回/年5コース 参加数(29年度12月末) 実 63組/延105組 (4回分) (28年度) 実 91組/延149組 内容: 離乳食講話、むし歯予防講話、救急救命講座、手遊び、交流会 等	母子健康手帳交付時やマタニティスクール等の各事業において、妊娠中の生活や出産、育児などについて知識の啓発を図ることができた。 妊婦の栄養摂取や体重増加の状況を確認し、必要時個別の保健指導を実施するなど、早期からの食育に取り組み、妊娠中に生じやすい異常の予防と低体重児の出生の予防を図っている。 乳幼児期の食生活は、子どもの健やかな成長と将来の健康づくりにとって重要であることから、食生活の重要性を啓発し、継続的に食育に取り組んでいく。 特に「早寝、早起き、朝ご飯」を継続的に推進し、朝食の重要性を意識づけしていく。 妊娠期から関わることにより、出産後も個別での対応につながり、乳幼児の発育に応じた相談体制をとることができた。今後も妊娠期からの継続した相談体制をとれるよう、子育て世代包括支援センターの設置の検討も進め、事業を継続する。

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
1 ライフステージ 次世代の健康		<ul style="list-style-type: none"> ●赤ちゃん訪問 (29年度12月末) 217件 うち 出生体重2,000g未満 : 3件 2,000～2,499g : 15件 (28年度) 329件 うち 出生体重2,000g未満 : 3件 2,000～2,499g : 10件 ●ふたご・みつごの育児交流会(平成28年度で終了) ・参加数(28年度) 2回 3組 ●あそび教室(1歳6か月児健康診査事後集団指導) 年24回 ・参加数(29年度12月末) 実 18人/延150人 (18回分) (28年度) 実 26人/延200人 ●予防接種 <ul style="list-style-type: none"> ・四種混合接種数(29年度12月末) 915件 (28年度) 1,342件 ・二種混合接種数(29年度12月末) 311件 (28年度) 390件 ・BCG接種数(29年度12月末) 222件 (28年度) 330件 ・ポリオ接種数(29年度12月末) 19件 (28年度) 42件 ・麻しん・風しん接種数 (29年度12月末) 570件 (28年度) 729件 ・ヒブ接種数(29年度12月末) 911件 (28年度) 1,320件 ・小児用肺炎球菌接種数 (29年度12月末) 909件 (28年度) 1,323件 ・水痘接種数(29年度12月末) 478件 (28年度) 609件 ・日本脳炎接種数(29年度12月末) 1,591件 ・B型肝炎接種数(29年度12月末) 650件 ・インフルエンザ接種数 (障がい児)(29年度12月末) 71件 (28年度) 86件 <p style="text-align: center;">*任意の予防接種として障がい児・者も対象 に接種費用の助成を行っている。</p> ●出前健康講座・健康教育(母子) (29年度12月末) 7回 ・参加数: 79人 ・内容: イヤイヤ期の過ごし方、感染症胃腸炎の予防 と対処法～ノロウイルス・ロタウイルス～、 ことばと脳の発達、こどもの感染症、脳の発 達とイヤイヤ期、感染症と生活リズム 	<p>平成17年度に開始したふたご・みつごの育児交流会につい て、地域の社会資源の整備に伴い、本事業の目的である多胎 児を育児している保護者の情報交換や仲間づくりが達成され ていることから、平成28年度で終了する。</p> <p>あそび教室は、1歳6ヶ月児健診事後において、早期に集団 指導を行うことで、発育状態に応じた対応、相談をすること ができる。参加者数は減ることなく、継続参加も多いなど、 需要が高いため、引き続き実施する。</p>

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ 1 次世代の健康		(28年度) 7回 ・参加数：85人 ・内容：感染症と乳幼児の生活リズム、イヤイヤ期の過ごし方、生活リズムと成長発達、乳児のお世話、子どもの言葉と脳、生活リズムと子どもに大事なホルモン、成長ホルモンと生活リズム	
	●保育所にて食育目標を作成し、食育の啓発に努め、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣が身につけられるよう支援する。	●保育所(保育課) ・全ての公立保育所で食育の啓発を実施(28～29年12月末)	乳幼児期に規則正しい生活、バランスのとれた食生活を身につけることは、適切な生活習慣や豊かな人間性を育成することに繋がるため、保育所での食育を引き続き実施する。
	●学校で食に関する指導計画や運動計画を作成し、健康づくりに活用する。	●小中学校(学校教育課) ・全ての小中学校で、食に関する指導の全体計画、学校保健計画を作成し、各発達段階に応じた指導を実施(28～29年度12月末)	学校では、各発達段階において、系統性をもって指導することで、児童生徒の食育に関する関心や、健康の保持についての関心が高まった。

<青年期、壮年期(65歳未満)>

ライフステージ 2 高齢者の健康	●生活習慣や健康管理について市民に情報を提供する。	●健康教室(再掲につき省略) ●生活習慣病予防教室(再掲につき省略) ●生活習慣病予防講演会(再掲につき省略) ●出前健康講座(再掲につき省略) ●特定健診(再掲につき省略) ●後期高齢者健診(再掲につき省略) ●30歳代健診(再掲につき省略) ●健診結果説明会(再掲につき省略) ●特定保健指導(再掲につき省略) ●訪問指導(再掲につき省略) ●成人健康相談(再掲につき省略) ●予防接種 ・インフルエンザ接種(任意)数 (障がい者) (29年度12月末) 18件 (28年度) 20件 (高齢者) (29年度12月末) 6,581件 (28年度) 7,053件 ・成人用肺炎球菌接種数 (障がい者) (29年度12月末) 127件 (28年度) 163件 (高齢者) (29年度12月末) 1,158件 (28年度) 1,602件	生活習慣病重症化予防と健康障害予防は、要介護状態とならないための健康づくりでもあるため、実施方法を検討しながら引き続き実施する。 市役所新庁舎が平成29年5月に完成し、保健センターが1階に設置され、市民が自由に来庁時に測定できる健康測定コーナーを設けた。いつでも自分のタイミングに合わせて測定することができ、自身の健康を確認する機会の一つとなっている。測定の方法や測定値の意味、見方など、希望に応じて相談を受けている。 各健康週間・月間に応じて、ポスターなどで情報提供や啓発を進めている。
	●個々に対応した健康づくりに関する指導・助言を行う。	●保健センター 健康測定コーナー ・身長・体重 (29年度12月末) 374人 ・体組成 (29年度12月末) 467人 ・血管 (29年度12月末) 530人 ・血圧 (29年度12月末) 1,356人 ・物忘れ (29年度12月末) 572人	

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
		<ul style="list-style-type: none"> ●情報提供・ポスター啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症予防啓発 6～7月 ・結核予防週間 9月 ・骨粗鬆症 9・10月 	
<高齢期(65歳以上)>			
ライフステージ 2 高齢者の健康	<ul style="list-style-type: none"> ●適切な栄養や運動についての知識を普及する。 ●各地区で介護予防事業を実施し、介護予防を推進する。 ●認知症予防や転倒予防、ロコモティブシンドロームの知識普及を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●健診事後指導数 (29年度12月末) 実539人(健康推進課) (28年度) 実5人(高齢者支援課) ●栄養指導数 (29年度12月末) 実20人/延33人 (28年度) 実24人/延38人 ●健康増進講演会 (29年度12月末) 1回 参加数:115人 (28年度) 2回 参加数:152人 ●出前健康講座 (29年度12月末) 20回 参加数:延373人 (28年度) 20回 参加数:延463人 ●脳健康教室 10回1コース (29年度12月末) 参加数:実18人 (28年度) 参加数:実17人 ●生活講座 (29年度12月末) 参加数:実13人(3回2コース) (28年度) 参加数:実11人(5回1コース) ●いきいき百歳体操リーダー養成講座 (29年度12月末) 3回1コース 2回 参加数:実26人 (28年度) 3回1コース 2回 参加数:実25人 	<p>各教室・講座等は、主に認知症予防や転倒予防を目的に行っているが、プログラムに、栄養や口腔ケアの講話等も盛り込みながら、幅広く介護予防を啓発している。認知症は、特に市民の関心が高いことから、引き続き、講演会など認知症予防に資する取り組みを行っていく。</p> <p>課題としては、多くの市民が参加し、かつ日常生活に取り入れて継続できるようにすることである。</p> <p>そのために、地域に介護予防を普及啓発する担い手(市民)であるサポーター育成を進めながら、身近な地域で活動が継続されるよう、市民の自主的活動への支援を強化していく。</p>

基本的な方向4 生活習慣および社会環境の改善(計画書 P44～63)

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度の取組み	評価と課題等
<妊産婦期、幼・少年期(15歳未満)>			
ライフステージ 1 栄養・食事	<ul style="list-style-type: none"> ●妊娠期の栄養について指導を行う。 ●乳幼児健診や教室等にて個々に応じた栄養相談を行う。 ●授乳期・離乳食期・幼児食期へとスムーズに移行できるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●妊産婦への保健指導(再掲につき省略) ●マタニティスクール(再掲につき省略) ●乳児健診、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診(再掲につき省略) ●保育所による食育の啓発(再掲につき省略) ●出前健康講座・健康教育(栄養・食事) (29年度12月末) 4回 ・参加数:59人 ・内容:朝食はなぜ大切か、離乳食講座、子どもの砂糖の量について (28年度) 4回 ・参加数:84人 ・内容:簡単手作りおやつ、子どもの便秘と食物繊維 	<p>母子健康手帳交付時やマタニティスクール等の各事業において、妊娠中の栄養などについて知識の啓発を図ることができた。また、妊娠中から子育て中の保護者の学習や交流の機会を提供した。</p> <p>妊婦のやせの減少に向け、妊娠期における栄養について、知識の普及啓発を継続的に実施していく。</p> <p>乳幼児期においても各事業の実施により、子育てが始まって間もない保護者への支援ができた。</p> <p>妊娠期から乳幼児期の相談支援が一貫した体制で行えるよう、また保護者が安心して育児を行えるよう、各事業を継続して実施する。</p>

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
1 栄養・食事	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所・学校にて子どもや保護者へ食育を推進する。 	<p>維、幼児のおやつ、楽しく食材を選んで健康な身体へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食育講演会 (29年度) 「野菜の力を引き出す”ごはん”の食べ方」 76人 (28年度) 「心と体をはぐくむ食育～大人も子どもも笑顔の食卓へ」 21人 ●食農教室(農政課) 年1回 ・参加数(29年度) 10組 (28年度) 9組 ●小中学校(学校教育課) ・全ての小中学校で食の指導に関する全体計画を作成し、各発達段階に応じた指導を実施 (28～29年12月末) 	<p>食生活は、どのライフステージにおいても重要であり、また子どもだけでなく保護者への啓発も必要であることから、今後も講演会等を通じ、啓発していく。若い世代の参加数の低迷が課題である。</p> <p>学校においては、各発達段階で、系統性をもって指導することで、児童生徒の食育に関する関心や、健康の保持についての関心が高まった。</p>
2 ライフステージ 身体活動・運動	<ul style="list-style-type: none"> ●乳幼児健診や教室等にて親子遊びや運動などの大切さについて指導・助言を行う。 ●保育所・子育て支援センターでは遊びの紹介やからだを動かすことの楽しさを伝える。 ●学校で体育や部活動の充実を図り、健康・体力づくりを推進する。 ●体力づくりのためのスポーツ活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●元気フェスティバルでの赤ちゃんゲーム(市と母子保健推進員との協働) ・参加数(29年度) 58組 (28年度) 46組 ●保育所(保育課) ・遊びの紹介：全ての公立保育所で実施 (28～29年度12月末) ●小中学校 ・全ての小中学校で体力テストを実施し、各学校において分析を行い、体力向上プランを作成し、一校一実践などの体力向上の取組を実施 (28～29年度12月末) ●市民スポーツ活動推進事業 ・スーパードッジボール大会 参加数(29年度12月末) 24チーム/279人 (28年度) 24チーム/290人 ・いちにのジャンプ大会 参加数(29年度12月末) 32チーム/353人 (28年度) 33チーム/386人 ・スナッグゴルフ大会 参加数(29年度12月末) 24人 (28年度) 23人 ・30キロ歩ける会 参加数(29年度12月末) 123人 (28年度) 141人 ・インドア子ども相撲大会 (29年度12月末) 2月10日実施予定 (28年度) 145人 	<p>乳幼児期からからだを動かすことは、健康なからだづくりに必要な運動習慣を身に付けることに繋がるため、乳幼児健診や保育所及び子育て支援センターにおいて、引き続き遊びの紹介やからだを動かすことの楽しさを伝えていく。</p> <p>学校においては、体力テストの結果に基づき一校一実践の取組や、体育授業における運動量の確保、効果的な身体の動かし方の指導などの指導方法を工夫することで、児童生徒の体育や運動への関心や意欲を高めることに寄与した。</p> <p>市民スポーツ活動推進事業では、子どもから大人まで誰もが参加できるような運動・スポーツに関する情報提供を継続して行い、市民の健康と体力づくりを支援するスポーツ活動を推進していく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●妊娠期から心の健康づくりを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●仲間づくり支援(社会教育課) ・ホームページを活用して社会教育団体として登録し 	<p>マタニティスクール等が、仲間づくりのきっかけとなり、出産後も連絡がとれるよう、クラス会も開催。交流の機会があることで、参加者同士が結びつき、孤立化を防ぐ</p>

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
<p style="text-align: center;">3 ライフステージ 休養・こころの健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●妊産婦が孤立しないように支援する（訪問・健診・相談など）。 ●乳児健診や育児相談体制の充実を図る。 ●子どもや保護者の悩みなどに対して相談を行う。 	<p>ている育児サークルを紹介 (28年～29年度12月末) (健康推進課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マタニティスクールクラス会〈市主催分〉 (29年度12月末) 4回 参加数：23組 (28年度) 5回 参加数：25組 ・マタニティスクールクラス会自主開催支援（同クラス会自主開催のうち1年間について市が会場確保） (29年度12月末) 3回 (28年度) 5回 	<p>ことができる。また、出産後も会うことで、妊娠期から継続した支援を行うことができている。 参加者同士の交流で、地域子育て支援センター利用のきっかけづくりも行っている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援センター等で育児について支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援センター事業（子育て担当） ・子育て支援コーディネーター専任職員配置 (27年度～) ・子育て支援事業の利用にあたっての相談 相談件数 (29年度12月末) 244件 (28年度) 306件 ・子育てサイトメール相談 相談件数 (29年度12月末) 11件 ・子育てガイドの発行（平成29年12月） 配布数 3000部 ・子育て講座 (29年度12月末) 18回 参加数:361人 (28年度) 26回 参加数:557人 うち 遊びに関する子育て講座 12回 参加数:291人 ・みんなの広場、出前みんなの広場 みんなの広場 (29年度12月末) 13,896人 (28年度) 10,833人 出前みんなの広場 (29年度12月末) 55人 (14回) (28年度) 182人 (24回) 	<p>子育て親子が集まりやすい子育て支援センターに子育て支援コーディネーターを配置したことや、子育て支援センターが平成29年6月に新庁舎へ移転したことにより、幼稚園・保育園などの情報提供の相談件数が増加した。引き続き相談支援の充実を図る。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関と連携を図り、児童虐待対策を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ハイリスク妊婦把握・支援事業 *全妊婦を対象としたアンケートと保健師による面接(または電話) ・アンケート実施数(29年度12月末) 220件 (28年度) 311件 ●子ども虐待予防ケアマネジメント事業 ・虐待要因チェックによるスクリーニング数 (29年度12月末) 実215件 (28年度末) 実327件 ●家庭児童相談室運営事業（児童家庭課） ・相談件数 (29年度12月末) 延 2,938件 (28年度末) 延 3,596件 	<p>ハイリスク妊婦把握・支援事業等にて、妊婦の身体的・精神的・社会的状況について把握し、妊婦の不安軽減や早期支援を行うことができた。今後も引き続き実施する。 乳児健康診査、1歳6ヶ月児健康診査において、未受診者確認に努めており、今後も未受診者対策を実施し、状況把握に努める。また、関係機関と連携しながら育児支援を実施することができた。赤ちゃん訪問等で把握する要支援ケースに適切な支援ができるよう、今後も引き続き実施する。 また、養育、発達発育等の要因から、児童虐待に関する相談件数は増加している。平成29年度は家庭児童相談員（母子・父子自立支援員兼務）を1名増員し、引き続き相談支援の充実を図る。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●性教育などの教育活動を通し、生命の大切さや思いやりの心の習得を 	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学校 ・全ての小中学校で、性教育の学年別指導計画を作成 	<p>発達段階に応じて、道徳などに関連付けながら健康や性教育、命の尊さ等についての指導に系統性を持って指導す</p>

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ	3 休養・こころの健康	<p>し、道徳などの内容と関連付けながら発達段階に応じた指導を実施 (28～29年度12月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●思春期講座の実施 (千歳保健所・健康推進課) ・高校生対象(29年度12月末) 0回 (28年度) 1回 実280人 (北広島西高校1学年) (健康推進課) ・障がい者対象(29年度12月末) 1回 実 8人 (28年度) 1回 実 10人 ●情報提供・ポスター啓発 ・いのちの電話・自殺予防週間啓発 9月 	<p>ることで、児童生徒の理解を深めることに寄与した。</p>
	4 飲酒	<ul style="list-style-type: none"> ●妊娠期のアルコールの害に関する情報を提供する。 ●母乳とアルコールの関係について情報を提供する。 ●アルコールが及ぼす健康への影響について、ポスター掲示やパンフレットの配布、広報等により普及啓発を行う。 ●学校にてアルコールに関する教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●妊産婦への保健指導(再掲につき省略) ●マタニティスクール(再掲につき省略) ●乳児健診、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診(再掲につき省略) <p>母子健康手帳交付時やマタニティスクール等の各事業において、妊娠期・授乳期の飲酒の胎児・乳児に与える害について知識の啓発を行った。 飲酒率の減少に向け、体へ及ぼす影響についての普及啓発を継続的に実施していく。</p>
	5 喫煙	<ul style="list-style-type: none"> ●妊娠中や乳児期からたばこ等の害に関する情報を提供する。 ●禁煙について普及啓発を行う。 ●学校でたばこに関する教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●妊産婦への保健指導(再掲につき省略) ●施設の分煙化・禁煙化 ・空気のおいしい施設(北海道・千歳保健所ホームページ) 北広島市内登録数 (29年度12月末) 28施設 飲食店：6、学校等：2、医療機関・社会福祉施設等：16、体育施設・娯楽施設：2、社会・文化施設：1、小売業・サービス業等：1 (28年度) 28施設 ●未成年喫煙・薬物防止教育(千歳保健所) (29年度12月末) 東部小6年生 児童65名、担任3名 「小学校のうちに知っておこう！ たばこと健康」 (28年度) 東部小6年生 児童68名、担任3名、他1名 「たばこと健康」 ●情報提供 ・健康情報展、各講演会等でパンフレット配布 ・受動喫煙ポスター掲示、ホームページ掲載 <p>母子健康手帳交付時やマタニティスクール等の各事業において、妊娠期・授乳期の喫煙の胎児・乳児に与える害について知識の啓発を行った。 喫煙率の減少に向け、体へ及ぼす影響についての普及啓発を継続的に実施していく。</p>

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ 6 歯・口腔の健康	<ul style="list-style-type: none"> ●ライフサイクルに応じた歯科保健指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●乳児健診 年24回 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科相談数 (29年12月末) 261人 (28年度) 313人 ●1歳6ヶ月児健診 年12回 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科相談数 (29年12月末) 248人 (28年度) 334人 ●3歳児健診 年12回 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科相談数 (29年12月末) 287人 (28年度) 326人 ●フッ化物塗布 年12回 <ul style="list-style-type: none"> ・実施数(29年12月末) 実186人/延211人 (9回分) (28年度) 実221人/延292人 	<p>乳幼児健診やフッ化物塗布事業等でむし歯予防について啓発し、歯と口腔の健康が維持できるよう努めている。</p> <p>平成29年度より保健センターが開設されたため、福祉センターから保健センターへ会場を変更している。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所・学校では歯科健診を実施し、う歯予防に努め、う歯のある児童・生徒に受診を促す。 ●子どもの歯と口腔の健康を保持するため、幼児期のフッ素塗布に加え、保育所、小学校でフッ化物洗口を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育所(保育課) <ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診：全ての公立保育所で年1回実施 (28～29年度12月末) ●小中学校(学校教育課) <ul style="list-style-type: none"> ・全ての小中学校で学校保健計画を作成し、全児童生徒を対象に歯科専門医による歯科健診を実施 (28～29年度12月末) ●フッ化物洗口(28年度～) <ul style="list-style-type: none"> ・全ての公立保育所の希望者に実施(4歳児以上) ・全ての小学校の希望者に実施 ●北広島市フッ化物洗口事業実施協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・構成員：歯科医師・小児科医師・薬剤師・小学校校長会・小学校PA連合会・保育園保護者等 (29年度12月末) 0回 (28年度) 1回 ●出前健康講座・健康教育(歯科) <ul style="list-style-type: none"> (29年度12月末) 3回 ・参加数：74人 ・内容：子どものむし歯予防、歯科相談 (28年度) 7回 ・参加数：87人 ・内容：子どもの歯、子どものむし歯予防 ●親と子のよい歯のコンクール(歯科医師会) <ul style="list-style-type: none"> (29年度) 6月10日 7名口腔内診査・表彰 (28年度) 6月4日 0名口腔内診査・表彰 	<p>う歯予防を乳幼児期から習慣づけることは、学齢期以降のう歯の減少に繋がるため、保育所における歯科健診を引き続き実施する。</p> <p>学校においては、全児童生徒を対象とした歯科専門医による歯科健診を実施することで、児童生徒の口腔衛生の保持に寄与した。</p> <p>また、永久歯のむし歯を予防するため、平成28年度よりフッ化物洗口を導入している。</p> <p>歯の生え変わりが始まる幼児期から学齢期まで継続して実施することが、う歯の減少に繋がるため、引き続き実施する。</p>
<青年期、壮年期、高齢期(15歳以上)>			
ライフステージ 1 栄養・食事	<ul style="list-style-type: none"> ●健康教室や健康相談にて生活習慣改善や食生活の指導を行う。 ●バランスのとれた食事ができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康教室(再掲につき省略) ●生活習慣病予防教室(再掲につき省略) ●生活習慣病予防講演会(再掲につき省略) ●出前健康講座(再掲につき省略) ●後期高齢者健診(再掲につき省略) ●30歳代健診(再掲につき省略) ●健診結果説明会(再掲につき省略) 	<p>規則正しい食生活が正しい生活習慣の確立につながることから、3食規則正しく、バランス良く食べることの重要性を周知し、行動変容につながるための取組を継続する。</p> <p>健康的な生活を実践したり、市の健康に関する事業や情報を提供するボランティアの育成を推進していく。</p>

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
1 栄養・食事	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報紙等で正しい食生活について知識の啓発を行う。 ● 市民と協働で適切な栄養摂取を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定保健指導 (再掲につき省略) ● 成人健康相談 (再掲につき省略) ● 健康情報展 (再掲につき省略) ● 健康づくり推進員養成 (再掲につき省略) ● 出前健康講座・健康教育 (栄養・食事) <ul style="list-style-type: none"> (29年度12月末) 4回 ・参加数: 86人 ・内容: 楽しく食材を選んで健康な身体へ、身体と健康、40~80代の食事や栄養 (28年度) 2回 ・参加数: 35人 ・内容: ヘルシーダイエット、楽しく食材を選んで健康な身体へ ● 情報提供・ポスター啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・食育月間啓発 6月 	
	ライフステージ 2 身体活動・運動	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近で安全なウォーキングを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ウォーキングマップの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内公共施設等にて配布 (28~29年12月末) ・ 市民ウォーキング (健康づくり推進員と協働) <ul style="list-style-type: none"> (29年12月末) 2回 175人 (28年度) 2回 201人
<ul style="list-style-type: none"> ● 体育館でスポーツプログラムの提供やトレーニング指導、相談事業等の充実を図る。 ● 市民と協働で適切な運動を推進する。 ● 健康づくりや生きがいのあるスポーツ活動を推進する。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 健康管理プログラムによる体力づくりへの助言 (総合体育館、体育協会) <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用数 (29年度12月末) 98,972人 (28年度) 129,459人 ● きたひろしま30kmロードレース <ul style="list-style-type: none"> 参加数 (29年度12月末) 1,239人 (28年度) 1,348人 	<p>市民スポーツ活動推進事業は、子どもから大人まで誰もが参加できるような運動・スポーツに関する情報提供を継続して行い、市民の健康と体力づくりを支援するスポーツ活動を推進していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 運動教室等の充実を図る。 ● 高齢者のための健康運動教室や相談等を各地区単位で行う。 ● 運動機能低下の高齢者に対して、運動機能向上教室を実施する。 ● 介護予防のための運動や体力づくりを行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 介護予防事業 (高齢者支援センター実施分) <ul style="list-style-type: none"> ・ 西の里「コグニサイズ」 <ul style="list-style-type: none"> (29年度12月末) 5回 延150人 (28年度) 12回 延256人 ・ 大曲・西部「ふまねっと」 <ul style="list-style-type: none"> (29年度12月末) 18回 延592人 (28年度) 22回 延679人 ・ 東部・団地「元気ぴんぴん体操」 <ul style="list-style-type: none"> (29年度12月末) 27回 延362人 (28年度) 36回 延533人 ☆ 平成28年度まで一次予防事業または二次予防事業として実施し、平成29年度から一般介護予防事業として継続している事業 	<p>高齢者支援センターが主催する運動機能向上のための教室などは、地域に定着し参加人数も増えつつある。</p> <p>また、平成29年度から高齢者支援センターに配置された生活支援コーディネーターの活動とも連動しながら、高齢者支援センターが住民主体の活動の場を、側面的に支援する機会が増えており、いきいき百歳体操を定期開催するグループや、健康運動教室終了後に自主サークルを立ち上げるグループなど、多様な運動機会が増えてきている。</p> <p>平成29年度から介護予防日常生活支援総合事業がスタートしたことにより、これまでの介護予防事業を評価し枠組みを変更した。</p>

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等
ライフステージ	2 身体活動・運動	<p>●社会参加促進のために生きがい活動の支援・活動の充実を図る。</p> <p>●健康運動教室 * H28一次・二次予防事業➡H29一般介護予防事業 (29年度12月末) 1コース10回 3コース 参加者：実40人 (28年度) 1コース10回 4コース 参加者：実41人</p> <p>●水中運動教室 * H28二次予防事業➡H29一般介護予防事業 (29年度12月末) 1コース12回 2コース 参加者：実56人 (28年度) 1コース12回 3コース 参加者：実58人</p> <p>☆平成29年度から通所型サービスに移行した二次予防事業</p> <p>●機能訓練教室(二次予防事業) (28年度) 参加者数：実13人 延 440人</p> <p>●生きがいデイサービス(二次予防事業) (28年度) 参加者数：実35人 延1,412人</p> <p>☆平成28年度で終了した二次予防事業</p> <p>●口腔ケア事業(二次予防事業) (28年度) 0件</p> <p>●訪問指導事業(二次予防事業) (28年度) 0件</p>	<p>二次予防事業のうち、機能訓練教室と生きがいデイサービスは、要介護認定を受けて対象者を選定する通所型サービスへ移行し、健康運動教室と水中運動教室を一般介護予防事業として、参加者を公募して多くの方が利用できるよう見直した。</p> <p>一般介護予防として再スタートした事業は、参加実人数が増加傾向であり、今後の利用状況を注視し、地域の自主的な集いの場やサークルなどでの積極的につなげていく。</p>
	3 休養・こころの健康	<p>●こころの健康について情報を提供する。</p> <p>●こころとからだの健康相談を行う。</p> <p>●うつ病などの精神疾患の正しい知識と適切な治療に関する情報を提供する。</p> <p>●こころの健康講座 1回 (29年度) 「うつ病とこころの健康～みんなで守ろう、大切な命～」 57人 (28年度) 「大人の発達障がいとこころの病気」 112人</p> <p>●こころの健康相談(千歳保健所・北広島市分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例相談数(29年度12月末) 実 2人/延 2人 (28年度) 実 2人/延 2人 ・定例外相談(29年度12月末) 実21人/延55人 (28年度) 実26人/延75人 <p>●訪問指導(千歳保健所) (29年度12月末) 実7人/延8人 (28年度) 実4人/延4人</p> <p>●情報提供・ポスター啓発 ・いのちの電話・自殺予防週間啓発 9月</p>	<p>うつ病・自殺予防を目的としたこころの健康講座の開催や各事業を活用して、障がいや病気に関する知識の普及啓発を図ることができた。引き続き実施し、こころの病気につながらないように啓発していく。</p>
	4 飲酒	<p>●健康教室や健康相談等にて多量飲酒の害に関する情報を提供する。</p> <p>●アルコールが及ぼす健康への影響について普及啓発を行う。</p> <p>●健診結果説明会(再掲につき省略)</p> <p>●特定保健指導(再掲につき省略)</p> <p>●成人健康相談(再掲につき省略)</p> <p>●健康情報展(再掲につき省略)</p> <p>●施設の分煙化・禁煙化(再掲につき省略)</p> <p>●情報提供(再掲につき省略)</p> <p>●北広島断酒会 例会参加</p>	<p>特定健診などの結果から、飲酒の適量や健康への影響について、個別に保健指導を実施した。また、健康情報展などでパンフレットにて啓発に努めた。</p> <p>酒害で同じ悩みを持つ人たちが参加する断酒会に出席し、お酒と向き合う会員の動向把握やアルコール依存症への相談等を行うことができた。</p>

No.	計画の概要(行政の取組み)	平成29年度までの取組み	評価と課題等	
ライフステージ	4 飲酒	<ul style="list-style-type: none"> ●アルコール依存症に関する知識、情報を提供する。 ●アルコールの健康相談について情報を提供する。 	(29年度12月末) 9回 (28年度) 11回	
	5 喫煙	<ul style="list-style-type: none"> ●健康教室や健康相談等にてたばこの害に関する情報を提供する。 ●禁煙について普及啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●健診結果説明会 (再掲につき省略) ●特定保健指導 (再掲につき省略) ●成人健康相談 (再掲につき省略) ●健康情報展 (再掲につき省略) ●施設の分煙化・禁煙化 (再掲につき省略) ●情報提供 (再掲につき省略) 	特定健診などの結果から、喫煙者に対しがん、循環器疾患、糖尿病等への健康の影響について、個別に保健指導を実施した。また、健康情報展やホームページなどで喫煙の害と受動喫煙についてパンフレットやポスターにて啓発に努めた。 喫煙率の減少と受動喫煙の改善に向け、継続的に普及啓発をしていく。
	6 歯・口腔の健康	<ul style="list-style-type: none"> ●「8020」「6024」運動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●出前健康講座・健康教育 (歯科) (29年度12月末) 2回 <ul style="list-style-type: none"> ・参加数：27人 ・内容：高齢者の予防歯科～お口の健康・実技～、肺炎予防の豆知識～おいしく食べるために～ (28年度) 0回 ●健康運動教室 <ul style="list-style-type: none"> ・内容：健康で長生きするためのお口のケア (29年度12月末) 3回 <ul style="list-style-type: none"> ・参加数：40人 (28年度) 4回 <ul style="list-style-type: none"> ・参加数：41人 ●情報提供・ポスター啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・歯周病啓発 11月 	生涯にわたり、歯と口腔の健康を保てるよう、肺炎を予防する口腔ケアや歯周病の早期発見などを健康講話等により周知に努めた。 歯の喪失を予防するために、むし歯予防とともに歯周病予防について、継続的に普及啓発していく。